

協力

77



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
<http://dendankyo.jimdo.com>

FRONT ESSAY

福音前進の鍵

パウロが手紙を送った教会の一つ、コロサイにある教会は特別の教会だったと思われます。アジアのエペソの教会を始め、マケドニアのピリピやテサロニケ、アカヤのコリントなど、パウロが直接関わった教会とは違い、ここはエパfrasが開拓した教会で、パウロは行ったことのない所でした。エペソから送り出されたエパfrasが開拓し、いわばエペソ教会が生み出した第二世代の教会です。福音の前進のビジョンをもって、働き人ではデモテヤテスを生み出したパウロにとって、エペソが生み出したコロサイの教会が、福音がさらに前進するかどうかの鍵を握っていると思えたのです。「あなたがたにまで、伝えられた福音は、世界中至るところでそうであるように」と大いに期待を寄せます。

国際ナビゲーターも、学生や社会人の働きでスタッフが直接関わった人から生まれる第二世代が育ち、用いられることが使命だと考え働いています。この手紙の最後の章でコロサイの教会に関わる人たち、すなわち福音の前進を左右する働き人の名前が挙げられています。コロサイで福音が前進し、さらにコロサイから福音の前進に直接貢献する人々です。

12名の名前が挙がっていますが、その働きは大きく4つのタイプに認められるのではないのでしょうか。第一にその働きを開拓し、パイオニアの役割を果たしたエパfrasです。第二は、自らの家を開放し、集会の中心となっていたピレモンと女主人のニンファで、地区の指導者と考えられます。そしてアルキポとコロサイの出身の奴隷オネシモは、コロサイのために献身的に働く大事な地区の働き人だと言えます。最後に見落としてはならないのが、これらの地区の人々を励ます人たち（地区に寄り添う働き人）です。特にティキコで、ユニークな役割を果たします。「パイオニア」、地区の「指導者」、地区の「働き人」、地区に「寄り添う働き人」が大事な貢献を負っているため、コロサイで福音が力強く前進し、それはさらに実を結んで成長していくとパウロは確信します。

コミュニティの働きから生まれたVIPクラブは、祈りと指導の核となるチームがよく用いられて働きが広がってきました。チームを支える働き人がいます。そして各チームに寄り添う働き人が全国を巡ってそれぞれのチームの働きを励ましています。

ナビゲーターの学生宣教では、巣立っていく卒業生にもっと焦点を当てるように示されています。

核となり、パイオニアの働きを担う、スタッフの存在も大事ですが、福音の前進のためには、地域の働き人や地域の働きを導く働き人が必要だと教えられています。そして核と地域を結ぶ、またさらに地域と地域を結ぶ働き人もいて、初めて、私たちはパウロのように、日本において福音が力強く前進するのを見ることができるとは、そう励まされています。

国際ナビゲーター
日本代表
楠田高久

新年会報告

1. 日時

2013年1月11日（金） 15:00～17:00

2. 場所

日本基督教団 赤坂教会

3. 伝道団体連絡協議会出席者（敬称略）

姫井雅夫（総動員伝道）、田村治郎、福地麻美、申オクチル、ジェローム・カセバ（日本国際飢餓対策機構）、東裕之（太平洋放送協会）、加藤太郎（日本聖書協会）
4団体7名、一般12名、合計19名

4. 内容

- ① 開会礼拝 司会：加藤氏 奏楽：東氏 奨励：姫井会長
- ② 新春講演会 講師：佐々木炎氏（ホッとスペース中原 代表）
- ③ 交わり 閉会祈祷：加藤氏

5. 内容の経過

①について

開会の後、聖歌480「輝く日を仰ぐとき」を全員で賛美しました。

姫井会長による奨励 第2コリント5章16～20節「和解の務め・和解のことば」
〈私たちクリスチャンはまず神とキリストによって和解をしなければなりません。神は私たちに和解の務め（ミニストリー）を与えてくださり、和解のことば（メッセージ）をゆだねてくださいました。私たちはキリストの使節（メッセンジャー）なのです。この新しい年も私たち並びに伝道団体は祈り合い、励まし合い、キリストの使節として和解の務めに励んでいきましょう〉とのメッセージが語られました。

②について

「教会の全人宣教 一介護福祉の働き」というテーマで、介護福祉士また中原キリスト教会の牧師である佐々木炎氏がパワーポイントを使って、介護福祉の全般的な働きや具体的な事例を通して講演をしてくださいました。〈福祉とは、そこに存在していること自体が、豊に恵まれ、身も心も神と共にある幸せな状態を表現しています。福音は苦難を通してイメージがグラデーションされる白黒の二元論で見ないこと。私たちは生命、生活・人生の受難を通して、キリストの受難と復活（救い）を味わうこと。十字架の主の苦痛と私たちの苦痛が“compassion（共感共苦）”していることに気づくためである〉と語られました。

③について

お茶とお菓子をいただきながら、講師への質問や参加者の交流が行われました。

報告／加藤太郎（日本聖書協会）



新春講演会講師の佐々木炎師



姫井雅夫会長による奨励



伝団協 加盟団体の紹介



クリスチャン・サーファーズ・ジャパン

ディレクター：豊川慎

<http://christiansurfersjapan.com/>

クリスチャン・サーファーズ・ジャパン (Christian Surfers Japan, CSJ) はサーフィンというスポーツを通じて伝道する超教派の伝道団体です。1999年に神奈川県湘南茅ヶ崎で日本、アメリカ、そしてオーストラリアからの三人の宣教師によってその活動が始められました。1980年代にオーストラリアのサーファーたちによって組織され始めたクリスチャン・サーファーズ・インターナショナル (CSI) は今では世界的な宣教団体となり、その宣教の働きはヨーロッパ、アジア、北米、南米など世界30か国以上に広がっています (CSIの詳細はwww.christiansurfers.net参照)。CSJはCSIの加盟団体として世界中のクリスチャン・サーファーたちと協力しながらサーフィン伝道を行っています。



CSJのビジョンは、日本のサーフィン・コミュニティにおいてイエス・キリストの証し人として用いられていくこと、そして日本のサーファーに分かりやすい形で福音を伝えていくことです。伝道が第一の目的であり、サーフィンを伝道の手段としてとらえ、海と教会の架け橋となることを目的としています。

これまでの活動の一例としては、『サーファーズ・バイブルリビングバイブル新約聖書』(いのちのことば社)の刊行、サーフィンの無料レッスン、クリスチャンのプロサーファー達(ベサニー・ハミルトンなど)が出演するサーフィン映画上映会の開催、サーフィン伝道用トラクトやDVDの配布、また東日本大震災後は被災サーファー支援も行っています。

日本のサーファー人口は150万人を超えていると言われています。海や波そして自然に対するサーファーとしての感性を多くの点で共有していますので、そのような「接点」を活かして日本のサーファーに福音をさらに伝えていく伝道団体でありたいと思います。

伝団協 加盟団体の紹介

日本キリスト伝道会

〒134-0081 東京都江戸川区北葛西4-3-9
Tel. 03-3804-1765 Fax. 03-3869-5262
会長：原登 実行委員長：深谷春男

「幻を語る会」へのお招き

キリスト伝道会は日本一千万救霊を掲げて50年。エバンジェリストを各地に派遣し、教会に仕え、伝道の働きに協力し、教会強化のために用いられてきました。

「幻を語る会」も毎年多彩な講師を迎えて行われてきました。

確かな希望を持つクリスチャンが起こされ、愛する日本にリバイバルが起こされることを願いつつ、今年も「幻を語る会」が市川サンシティ(山崎製パン企業年金基金会館/千葉県市川市)で開催されます(8/19~21)。特別講師による3回の大会メッセージがあり、2回の講演があります。早天祈祷会、半徹祈祷会も素晴らしいときです。分団では各部門で、熱心に何が求められているか語り合しましょう。

ビジョンをもって、祈りつつご参加ください!





NEWS FLASH

伝団協 加盟団体の 近況・祈りの課題

■アジア アクセス

◇アジアアクセス・JCGIネットワークのために

- ・沖縄・茨城ミラクル・南関東・宮城宣教・関西（予定）の開拓伝道の励ましあいのネットワークが用いられますように。
- ・関東地区（2年目）、西日本東海地区（4月予定）の地域別の牧師研修が用いられますように。
- ・各地に派遣されている宣教師の働きのために
- ・効率的な運営のために、山形事務所と所沢事務所を埼玉県所沢に一本化することになりました。円滑な運営のためにお祈りください。

◇指導者研修等の働きがアジア全土に拡大するように。

■いのちのことは社

昨年11月2日から2013年3月2日迄、お茶の水で開催されている「星野富弘花の詩画展」に来場されている、多くのノンクリスチャンの方々が救いに導かれますように。

■クリスチャン・サーファーズ・ジャパン

- ・CSJのサーフィン伝道によって、一人でも多くの日本のサーファーに福音が届くように。
- ・新作DVD『プロミストランドーサーファーから見るイスラエル』が伝道に豊かに用いられるように。
- ・被災した東北のサーファー達への継続的支援のために。

■クリスチャン文書伝道団

- ・厳しい出版不況が続いています。しかしながら今一度、文書伝道のあり方を捉え直し、これからのあるべき姿の方向性を見出すことができるように。そのためにも、神様により頼み、みことばと祈りによって進んで行くことができるように。
- ・信徒、教会に仕える働きができるように。
- ・働き人の霊性と健康が守られますように。

■高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)

一人でも多くの高校生に福音が届くために、活動展開の拡大・前進を願っています。主のみこころに聞き従いながら進めることができるように、そのためのすべての必要が満たされるようにお祈りください。

公 告

下記の通り、
伝道団体連絡協議会 年次総会を開催いたします。
日時：2013年4月26日(金) 15時～17時
場所：お茶の水クリスチャン・センター415号室

■全日本リバイバルミッション

- ・8月に開催予定の「和歌山リバイバルミッション」が祝福されますように
- ・「アジア・環太平洋リバイバルミッション」が神の計画の場所で開催できますように。

■総動員伝道

- 1、年内に行われる超教派伝道活動に祝福があるように。
- 2、夏のトラクト配布伝道のため。今年は三重県伊勢市
- 3、歩いて伝道 Walk with Jesus 今年は富山県高岡から新潟県出雲崎まで。
- 4、信徒訓練セミナー（他の伝道団体と提携して行う予定）。

■太平洋放送協会

- ・ラジオ「世の光」、テレビ「ライフ・ライン」が用いられ、教会につながる人が起こされますように。
- ・好評のCD付きリーフレットですが、この3月には「詩篇・なぐさめの詩(うた)」（詩篇の朗読と解説入り）が発行されます。また、4月には、PBAメッセージ集(書籍)も発行されます。伝道のため多方面で用いられますように。

■ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- ・インターネット上のメッセージ無料配信サイト「メッセージステーション」が多くの方に用いられますようにお祈りください。
- ・中川健一メッセージCDを大幅に値下げする予定です。宣教のために用いられますようにお祈りください。

■日本国際飢餓対策機構

- ・フィリピン台風ポーファの被害を受けているミンダナオ地域の継続的な支援活動のために。
- ・世界の飢餓と貧困と闘う人々の自立のために、日本の教会・現地の教会と一致してお仕えできるように。

■日本聖書協会

- ・3月2日大阪、3月8日東京で行われる聖書事業懇談会が祝われますように。
- ・聖書の新翻訳事業が祝われますように。
- ・耳の不自由な方のための「手話訳聖書DVD」が一日も早く全巻完成され、用いられますように。

■B. F. P. Japan

☆勢力を強めるイスラム教テロ組織を覚えて
「アラブの春」後、イスラム系テロ組織の勢力拡大が懸念されています。アルジェリア人質事件のようなテロが再び起こることのないように。中東、アフリカ、アジアのイスラム諸国に安定が戻るように。イスラエルがこのような中でも守られるように。

『協力』77号

発行日：2013年2月20日

発行所：伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室

TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 <http://dendankyo.jimdo.com>

発行者：姫井雅夫

印刷：新生宣教団(500部)